

2016年度特別研究期間 研究成果概要

所属・職・氏名： 理工学部教授 尾鼻 靖子

研究課題：役割理論を適用した日本語の分析

研究期間：2016年4月1日～2017年3月31日

研究成果概要：本研究では、社会学で用いられているアイデンティティ理論のひとつである、役割理論、特にSymbolic Interactionism (SI) という相互関係によって対話に参加する人の役割が変化していくという理論を、日本語のポライトネス及びその他の語句に適用することが主旨である。これは2011年度から継続して行っている研究で、この1年間はこれまでの研究の集大成のような形で著書を仕上げ、論文を投稿したりした。今までデータの分析及び参考文献の閲覧は充分になされていたが、執筆の時間が毎日いただけただことで以下のように成果ある研究結果となった。

まず数年前から少しずつ執筆していたJapanese Politeness for Learners: A Guide to its Theory, Practice and Applicationと題する著書を仕上げるのが念願であったが、その中で役割理論を適用し、また最近の新しい動向も加えながら、日本語学習者が日本語のポライトネスの背景と理論を説き(第1章及び2章)、そして何故この言葉なのかというのを解説しながら、敬語をはじめ(第3章)、ポライトネスストラテジー(第4章)、そして敬語のバリエーション(皮肉、脅威、ジョーク、感謝や謝罪の度合い、慎重な態度など)(第5章)について参考書として仕上げている。ほぼ完成しており現在校正の段階にあり、現在出版社と出版依頼の交渉中である。B5サイズで400ページほどになる予定の著書である。

一方で論文も全部で4本出版された、あるいは出版が決定している。そのうち2本は査読付きですでに出版されたものと出版間際のものがある。前者はポライトネスの中でもspeech level shiftsという会話中にスピーチレベルが変化する日本語の現象を捉えて、従来の方法から離れて、上記のSI理論を適用して分析している。さらにSI理論の中のidentitiesの種類を拡張してスピーチレベルの変化はinteractional identities が変化するためとし、文脈に応じて下位分類である、task-role identities, dissociative role-identitiesなどをオリジナルに提供し、それを分析における用語として使用している。

もう1本はbook chapterとして勧誘されて20ページほど執筆して提出している。題名はJapanese Politenessで今までの研究の成果を生かしてコンパクトに仕上げている。これも査読を経てacceptされた。これはRoutledge Handbook of Japanese Sociolinguistics (Patrick Heinrich 編集) という著書として今年度末出版の予定である。最後の1本は本学の紀要に3月に出版されている。また、投稿間際の論文が共著で1本、書きあげつつあるのが共著で1本ある。

この研究期間中は、学会で発表したものはないが、役割理論の専門家である、社会学者のJohnathan Turner (UCL) にあって私が拡張して言語学に適用しているのを聞いてもらい、それに対してコメントをもらい、さらに役割理論がどこまで拡張できるのかについて議論するという機会を設けた。またSI理論の学会にはじめて参加し、社会的見地からSIをどのように適用して社会現象を分析するのかを垣間見ることができた。

海外研究協力者(科研費に基づく)との共著の打ち合わせも豪州のブリスベンで行った。上

記の共著論文2本の基となる話し合いを行った。トピックは日本語の「～てくれる」の語用論的分析で、従来の「恩恵」を基礎とするやり方を批判し、「～くれる」には「恩恵」が本来備わっているのではなく、話者に向かうベクトルが基本であり、また古代語にもともとあった「上から下」へと事象が移動することのみ機能はなく、それが文脈における話者の意図や感情が恩恵であれば「～くれる」はその恩恵を強調し、否定的感情であれば（批判、皮肉、誹謗）その否定的感情を強調すると新しい展開を提示した。これは数週間内にEast Asian Pragmaticsというジャーナルに提出する予定である。もう一本の共著は会話中に二人の間で何等かのヒントを与えることで相手がオフアをする状態に追い込まれる、いわゆるfishingの例を基にSIにおけるinteractional identitiesの変化を議論したものである。これは執筆中である。

研究成果概要は、データは gakunai@kwansei.ac.jp まで提出してください。